

公 民 [倫理研究] (100 点 50 分)

2010 年 6 月 3 日 (木) 5 限 実施

前期中間考査

千葉県立長生高等学校 第 3 学年 倫理研究選択者

Edited by K.Kataoka

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中にはさんであります。
- 3 試験中に解答用紙の不足、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答用紙には問題で指定された番号の解答欄に解答を書き、選択問題については正解の番号をマークすること。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰って復習をするとともに、答案返却の際に持参すること。

倫 理

(解答番号 [1] ~ [50])

第 1 問 次の文章を読み下の問い (問 1 ~ 問 8) に答えよ。(配点 18)

私たち自身をも含む「人間とは何か」については古来多くの思想家が論じた。そこでは、人間が動物の一種であり、直立二足歩行することは自明の事実とされており、それ以上の特性をもって人間を規定しようとしている。「英知人 Homo sapiens」「[1] H.faber」「言語人 H. loquens」(a)「政治人 H.politicus」(b)「経済人 H. oeconomicus」(c)「宗教人 H. religiosus」「芸術人 H.artex」「魔術人 H. magicus」(d)「遊戯人 H.ludens」などは、いずれも人間の特性の一面を物語っている。

[2] は「人間は考える葦である」として、人間の弱さと思考の優越性を説いたが、形而下的には (e) 人間はけっしてか弱い存在ではなく、多くの動物たちにとり脅威となっている。今日の自然破壊にみるまでもなく、後期旧石器時代以降、人間は多数の生物種を絶滅、またはそれに近い状態に追い詰めてきた。それというのも、武器や火の使用ばかりでなく、優れた知能に由来する激しい攻撃性の展開の結果であったといえる。このため人間は「食肉類の特性をもつ霊長類」とみなされる。殺人、拷問、戦争などの実例から、人間ほど残忍な動物はいないといわれながらも、他方、ほとんどの動物が利己的にふるまうなかであって、人間は利他的にも行動することが可能で、日常的に他人に尽くし、弱者を扶助愛護する唯一の動物である。多くの動物では老いて生殖能力のないものは死んでいくが、老人は社会の保護により生存し、その知恵と経験をその社会に十分に生かす。そこに [A] の根源の姿をみいだすことができる。

問 1 文章中の [1]・[2] に入る最も適当な語を記せ。

問 2 下線部(a)に関して、次の文の著者として最も適当なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。 [3]

すべての国は...自然に存在する。何故なら国は共同体の終局目的であるからである。...人間は自然に国的動物(ゾーン・ポリティコン)である。...自然は何ものも無駄に作りはしないのに動物のうちで言葉を持っているのはただ人間だけだからである。

ベルクソン

プラトン

アリストテレス

カッシーラ

問 3 文中の下線部(b)に関連して、下のアダム・スミス著、『道徳情操論』の文中の空欄 [4] に入る最も適当な語を記せ。

富者は全生産物の中から最も高価にして快適なるもののみを選ぶに過ぎない。彼らは貧者と等量しか消費せず、彼らの自然的欲望と貪欲にもかかわらず、また彼らは単に彼ら自身の便宜のみを考慮しており、彼らが雇用する数千人もの勤労に対して望むところの唯一の目的が、彼ら自身のくだらぬ飽くことなき欲望にあるとはいえず、彼らのあらゆる犠牲の結果である生産物については、これを貧者とともに分かちるのである。彼らは、[4] に導かれて土地がその居住者の間に均等に分割されていたならばなされていたであろうと思われるような、生活必需品の均等な分配を行うに至るのである。

問4 下線部(c)に関連して、キリスト教の人間観「イマーゴ・デイ」とは何か。簡潔に答えなさい。[5]

問5 下線部(d)に関して、遊びの形式のなかで発生した文化は、その発展の中で「遊び」の要素を失っていく。ホイジンガはこれをスポーツを例にとって説明している。スポーツの歴史を見てくると、純粹な「遊び」の要素がスポーツから失われてきたというのである。このような状態をもたらした原因として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[6](1997年センター本試験より)

- スポーツがナショナリズムや商業主義と結びついたため。
- スポーツに参加する競技人口やファンの数が増加したため。
- スポーツ選手に要求される技術の専門化・高度化が進んだため。
- スポーツ競技において特に勝敗が意識されるようになったため。

問6 下線部(e)に関して、次の文の中に見られる人間観として最も適当なものを、下の ? のうちから一つ選べ。[7]

生きた自然からのズレ、ピュシスからの追放。これこそ人間と社会の学の出発点である。人間はエコシステムの中に所を得て安らうことのできない欠陥生物であり、確定した生のサンスを持ち合わせない、言いかえれば、過剰なサンスを孕んでしまった、反自然的存在なのである。(中略)

自然の秩序たるピュシスからはみ出し、カオスの中に投げ込まれた人間は、そこに文化の秩序を打ち立てねばならない。 浅田彰『構造と力 記号論を超えて』より

- ホモ・サピエンス ホモ・ユニウェルサルリス
- ホモ・デメンス ホモ・ルーデンス

問7 本文の要旨から考えて、空欄[A]に入る語として最も適当なものを、次の ? のうちから一つ選べ。[8]

- キャピタリズム エゴイズム コミュニズム ヒューマニズム

問8 1960年代のアメリカで盛り上がりを見せた、既存の文化(メインカルチャー)や体制を否定し、それに敵対する文化を何と呼ぶか。[9]

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～問9)に答えよ。(配点 28)

わたしたちは、社会のなかでさまざまな欲求をもって生活している。青年期にめばえてくる欲求も多い。そして、しばしば、それらの欲求が自分のなかで衝突しあい、どの欲求の実現を優先させるかについて迷い悩む。

欲求には、うまれながらに持っている食欲、性欲などの生理的欲求(一次的欲求)と、名誉欲や金銭欲、所有欲などの[10]的欲求(二次的欲求)とがある。どの欲求を重視するかは、それぞれの時代や社会、個人によって異なっている。

アメリカの心理学者マズローは、欲求を階層的にとらえた。そして、本当の自己をみだし、自分の能力を最大限実現しようとする[11]の欲求を、人間の最高の欲求と位置づけている。

人間は、(a)欲求の実現が阻止されると、心の緊張が高まり、欲求不満におちいることが多い。そのさい、欲求不満から生じる不安・焦燥・劣等感などの苦痛をさけるために、(b)防衛機制とよばれる無意識の心のしくみがはたらくことがある。不安を感じそうな場所や機会をさけたり、原因を他人のせいにして、その他人を攻撃することで、心の緊張状態を回避または解消したりしようとするのである。わたしたちは、反社会的な欲求を断念したり、適切な欲求実現の方法をくふうしたりして、(c)欲求不満にたえうる強い自己を形成していく必要がある。

精神分析学を創始したオーストリアのフロイトは、人間の行動の根底には、(d)抑圧された性的欲動があると唱え、当時の人間観に大きな衝撃を与えた。すなわち、心の深層には広大な無意識の領域(エス)があり、そこに性的衝動(エロス)など本能的な欲望が抑圧されて蓄積され、行動のエネルギー源になっているという。

ひたすら欲望を満足させて快楽を得ようとするエスト、両親や権威などによる教育から形成される[12]との間で、両者の要求を調整して現実に適応した行動をとらせようとするのが、自我である。超自我によって抑圧された欲望は(e)コンプレックスとなり、芸術や文化を創造する意欲へと転換されるいっぽう、自我が衰弱すると過剰な抑圧や欲望を制御できず、神経症を発症させる。現代の高度管理社会は、非合理的な欲望を異常視し、欲求不満を解消する方法をも抑圧するから、[A]を生じさせやすい。フロイトは、人間を理解するうえで重要なのは(f)無意識の欲望であるとして、近代の理性中心主義に打撃を与えたのである。

のちに彼は、自己破壊衝動([13])をも人間の根本的な衝動とみなし、人類が最後の一人まで殺しあう力をもったことが、現代人の焦燥や不安の大きな理由になっていると考えた。エロスが創造する文化の発展が死の本能[13]をいかにおさえるか、それが人類の課題となるのである。

スイスの心理学者ユングは、無意識の領域に、コンプレックスからなる個人的無意識よりもいっそう深い人類共通の[14]的無意識の働きを認めた。彼は、精神病者の妄想が、神話や宗教、未開社会の伝承などの象徴的イメージと共通することから、無意識の根底に人類共通の普遍的な世界があると考え、その要素を[15]と名づけた。理想の異性像であるアニマ(女性)やアニムス(男性)をはじめ、[15]は、個人の創造的な精神活動や人格形成の源泉としてはたらくという。

問1 文章中の [10] ~ [15] に入れるのに最も適当な語を記せ。

問2 下線部(a)に関して、個人内に対立する二つ以上の動機(欲求、衝動、意見など)が同時に同じ強さで存在し、相争っている状態を何というか。[16]

問3 下線部(b)に関して、防衛機制の例として適当でないものを、次の ? のうちから一つ選べ。[17]

オープンキャンパスのときに第一志望の大学の校章がついた文房具を買い、合格した気分になる。

本当は自分が浮気したいと思っているのだが、それには気付かず、恋人に浮気願望があると思い込んでしまう。

少し高価な漫画が欲しかったがお金が惜しかったし、店員も見ていなかったので万引きした。

好きな異性に対して、その気持ちに自分は気付かずに無関心を装ったり、逆に意地悪な態度に出てしまった。

問4 下線部(c)に関して、欲求不満に対する耐性を意味する語として最も適当なものを、下の ? のうちから一つ選べ。[18]

フラストレーション コンフリクト ジレンマ トランス

問5 下線部(d)に関して、フロイトによって、人間に生得的に備わっている「本能」エネルギーという意味でつかわれたこの精神分析の用語は何か。[19]

問6 下線部(e)に関して、父親に敵意を抱き、母親に対して愛情を求めようとする近親相姦的願望が抑圧されて形成したコンプレックスをフロイトは何と呼んだか。[20]

問7 空欄 [A] に入る語として最も適当なものを、次の ? のうちから一つ選べ。[21]

神経症 躁鬱病 統合失調症 自閉症

問8 文中の下線部(f)に関して、フロイトが考えた無意識があらわれる例として**適当でない**ものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[22](2007年センター本試験より)

気掛かりなことがあると、何かに追いかける夢を見てしまう。

複雑な感情を抱いている相手の名前を、言い間違えてしまう。

もう一度行きたいと思っている場所に、忘れ物をしてしまう。

朝日が昇るのを見ると、誰もが荘厳な感じを抱いてしまう。

問9 次の文が記述するフロイトの弟子の名を記せ。[23]

幼時からくる病や事故に遭ったりして身体障害を経験し、そのため発奮して医師になった。身体器官の劣等性に興味をもち、人間には必ず形態的ないし機能的に劣った部分があることを見だし、すべての人間に普遍的に劣等感が存在すると考えるようになった。そして、『器官劣等性の研究』(1907)の中で、過去の性的外傷体験を重視するフロイトの説に反対して、目的論的な立場から、自己の器官の劣等性に由来する劣等感と、それを補償しようとする権力への意志を重視した。

第3問 次のA, Bの文章を読み, 下の問い(問1~問9)に答えよ。(配点 26)

A きみたちが毎朝髪をととのえたり, 服装に気を使いはじめたのはいつごろからだろうか。親から髪型や服装その他について注意されると腹だたく思い, 親の思いどおりになるものかと思ったこともあるだろう。このように青年期になると「自分」を強く意識するようになり, 「自分」にこだわりはじめる。これを自我に目覚めるといふ。そして親などおとなへの依存から脱却して, 精神的に自立していこうとする(心理的離乳)。このことを, フランスの思想家ルソーは, 「[24]」と表現した。

青年は, もはや子どもではないが, いまだにおとなでもない中間者である。ドイツの心理学者 [25] は, 社会のなかで異質な集団に同時に所属し, いずれの集団にも安定した帰属意識をもてないため, 行動の仕方が一定しない人を, マージナル マン(境界人または周辺人)と名づけた。青年は, マージナル マンであり, 心理的な動揺を経験することが多い。

近代以前の社会では, 第二次性徴があらわれると, まもなく子どもからおとなになるための儀式(a) (通過儀礼)がおこなわれた。子どもたちは, その儀式に参加することによって, すぐに「むら」のおとな集団の責任ある一員として受け入れられた。

しかし, 産業化, 情報化のすすんだ近代社会では, 子どもからおとなへの移行には, 身体的, 生理的な成熟とともに, 長期間にわたる心理的, 社会的な成熟の期間が必要になった。こうしておとなになるための見習い期間である青年期がうまれた。青年期は, 社会の側からおとなとしての責任や義務が免除されている時期である。(b) アメリカの心理学者エリクソンは, 青年期のこの特徴をとらえて, 「[26]」と名づけた。また現代社会では, 社会生活を送るために必要な知識・技術が, 高度化・多様化しており, その習得のために青年期が延長される傾向がみられる。このため, かつては22~23歳ごろまでとされていた青年期は, 30歳くらいにまでのびているといわれる。

問1 空欄 [24] ~ [26] に入る最も適当な語を答えよ。

問2 下線部(a)に関して, 日本の通過儀礼の行事として適当でないものを, 次の ? のうちから一つ選べ。[27]

七五三 成人式 お七夜 端午の節句

問3 下線部(b)に関して, エリクソンの概念, 自我同一性を見失っている心理状態の例として最も適当なものを, 次の ~ のうちから一つ選べ。[28](2009年センター試験より)

定年で, 仕事を辞め, 空虚さを感じていたときもありました。今, これまでの人生を振り返って自分史を書き始めています。思いのほか, たくさんの人にお世話になってきた自分を改めて感じています。

結婚を前提に特定の人と付き合っている友だちがおり, すごく生活が充実しているように見えます。結婚を焦る気持ちも正直ありますが, 今, 仕事が充実しており, しばらく仕事をがんばろうかなと思っています。

子どもも大学に入り, 家を出ていきました。心の中にぽっかりと穴が開いた感じが続いています。自分の人生っていったい何だったのだろうか, 自分の存在意義って何なのだろうか, いろいろと思い悩んでいます。

小学生の子どもがいます。学校に行ったり行かなかったりで, 友だちとトラブルがあったのではないかと心配です。自分の会社での仕事も忙しく, 大きな仕事の責任者となっています。いろいろと考えることが多いです。

B 青年は、さまざまな欲求のなかで生きている。そして、特定の欲求を実現しようとしても、それを社会的・環境的な条件に適合させなければ実現することができない。政治・経済のしくみ、対人関係での相手からの期待・要求、社会的な規範（法や道徳・慣習）などの諸条件に、欲求をもつ個人が適合しようとしてつとめる行動を [29] 行動という。青年はしばしば環境と対立し、環境を批判するようになる。しかし、やがて環境にはたらきかけ、環境と自分の欲求の両方をつくりかえながら、環境に [29] して、(a) パーソナリティ（ひろい意味の個性）を形成していく。そして、パーソナリティがその人間の環境への [29] の仕方を決めているのである。

パーソナリティは、大きく分けると、能力・[30]・性格という三つの要因がむすびあっている。能力には、肉体的な条件にかかわる運動・動作の技能から、知覚・判断・思考といった知能まで、さまざまな種類のものがある。[30] は、その人のもちまへの感情・情緒・気分のあらわれや強さの特質をさす。そして、性格は能力と [30] という二つの要因の動きをまとめる働きをしている。

ドイツの教育学者 [31] は、人間が何に価値や興味をもつかによって、性格を政治型・経済型・社会型・理論型・審美型・宗教型の六つに分類した。また、スイスの心理学者ユングは、心のエネルギーや関心が自分の外側か内側（内面）のどちらに向かうかによって、外向型と内向型に分類した。

問4 空欄 [29] ~ [31] に入る最も適当な語を答えよ。

問5 下線部(c)に関して、オルポートの唱えた成熟したパーソナリティについての記述として適当でないものを、次の ? のうちから一つ選べ。 [32]

- 欲望の解放と私生活へのこだわり
- 現実的な外界の認知と思考
- 社会的領域にひろく拡大された自意識
- 他者との温かい人間関係の構築

問8 社会的性格としての権威主義的パーソナリティに関する次の記述の空欄 [33] に入る人名を答えよ。

[33] はドイツの中産階級の社会的性格の研究をとおして、近代社会で生みだされた自由は消極的な「……からの自由」であって、積極的な「……への自由」ではないと説く（『自由からの逃走 Escape from Freedom』1941）。近代的自由の一面には個人の孤独化と無力化があり、そこから逃避することによって、権威主義、破壊性、機械的画一性などの心的作用が現れるとする。権威主義は被支配者の思考様式の問題である。たとえ制度としては民主制機構を採っていても、被支配者の大部分が権威主義的思考様式をとる限り、権威主義的支配はその威力をふるう。

問9 実存分析を創始したオーストリアの精神医学者フランクルの著書として最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。 [34]

- 菊と刀
- 夜と霧
- 生きがいについて
- サモアの思春期

第4問 次の文を読み、下の各問い(問1～問5)に答えよ。(配点 16)

(a)現代の核家族化の背景には、大都市における深刻な住宅事情のほかに、工業化と都市化にともなって社会における家族の役割が大きく変化したということがある。かつての家族がになっていた機能、たとえば、生産や教育、看護といった働きが、企業や学校、病院などの個々の機能集団によっておこなわれるようになって、家族の機能が[35]化してきているのである。

核家族化と並んで、子どもの数が減少する少子化がすすんでいる。女性が生涯にもつであろう平均的な子どもの数を示す[36]は、高度経済成長時代には2.2程度であったが、1970年代なかば以来低下しつづけて、2005年には1.26にまでさがった。一方、結婚した夫婦が生む子どもの数を示す完結出生児数は、この30年間ほぼ2.2程度で変化がない。つまり、少子化は、結婚した夫婦が子どもを生まなくなったからではなく、結婚する年齢がおそくなったり(晩婚化)、結婚しなくなった(非婚化)からであると考えられている。しかも未婚の女性が子どもを生むことに対して、社会的な制約が多い日本では、非婚化が少子化につながるのである。生まれる子どもの数が減少すると、現在の人口が維持できなくなり、生産の担い手である[37]人口(15歳以上65歳未満)が減少し、社会保障や労働市場などに影響を与える深刻な問題が生じることになる。

現在、(b)男女が社会の対等な構成員として、職場にも家庭にもともに参画して責任をわかちあい、その個性と能力を十分に発揮することができる(c)男女共同参画社会の実現が、大きな課題となっている。そのためには「男は仕事、女は家事・育児」といった固定的な性別役割分担を改めていくとともに、夫婦がともに家庭と仕事を両立できるような、(d)法律や制度の整備・拡充がのぞまれる。たんに法律上にとどまらず、事実上の平等を実現するためには、たとえば、職場などにおける女性雇用者の割合に一定の数値目標を設定し、その達成を義務づけるクォータ制(割当制)を採用するなど、積極的な改善措置としての[38]などの導入が求められよう。

問1 文中の空欄[35]～[38]に入る最も適当な語を答えよ。

問2 下線部(a)に関して、旧民法上の家族のあり方として適当でないものを、次の～のうちから一つ選べ。[39]

婚姻には戸主の同意が必要で、男は18歳、女は16歳以上の年齢から結婚できる。

遺産相続は家督相続で、財産とともに戸主権が通常は長男に継承される。

戸籍は家を単位とし、戸主及びこれと一家を構成する家族で編成される。

戸主権とは家族の居所を指定する権利や祖先祭祀の権利などを含む家長の権利である。

問3 下線部(b)に関して、下の文があらわす女性解放運動家の名を答えよ。[40]

フランスの女流作家。パリ大学に学び哲学教授資格を取得。高校教師を経て1943年小説『招かれた女』以後文筆生活に入る。学生時代に知り合ったサルトルと、既成道徳にとらわれぬ自由で親密な関係を結び、サルトルの死まで常に協力した。45年サルトルの創刊した雑誌「現代」に加わり、盛んな著作活動と社会的実践により実存主義の代表的作家の一人としてフランス国外にも広く知られ、また世界各地に旅行して知識人との連帯を深めた。66年には来日している。女性の状況と意識を徹底的に追究した画期的な女性論『第二の性』(1949)と、以後の一貫して偏見と闘う言論活動によって、20世紀後半の世界的な女性解放運動の先駆的役割を果たす。

問4 下線部(c)に関して、次の世論調査の分析として最も適当なものを、次の ? のうちから一つ選べ。[41]

男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府より平成14年9月7日発表）
調査は全国の成人男女計5000人を対象に実施、有効回答率は71.2%。

- ・ 「夫は外で働き、妻は家庭を守る」との考え方への賛否が47.0%と同率で、賛成が5年前の調査に比べ約11ポイント減少し、男女の役割分担よりも共同参画の意識が徐々に浸透していることが分かった。
- ・ 「家庭の実権者」を夫と回答したのは55.6%で10年前に比べ6.1ポイント減ったのに対し、妻と答えたのは16.9%（同5.3ポイント増）で、夫の権威の低下もうかがえる。家事への男性参加率は若干増えたが、掃除を主に担当しているのは、夫が3.9%に対し妻は82.4%。洗濯、食事の支度、後片付けのいずれも妻が担当しているケースが80%以上を占めた。
- ・ 「家計費の管理」について最終的に決定するのは、夫が15.8%と10年前に比べ6.1ポイント増え、逆に妻は66.9%で3.6ポイント減。「貯蓄や投資の最終決定者」は夫が27.3%、妻が44.5%で、貯金や財テクは妻の領域となっている家庭が多いようだ。「土地や家屋の購入の最終決定者」は、夫48.0%、妻が6.9%、夫婦が33.3%で、10年前に比べ夫が5.2%減った。
- ・ 女性の仕事について「子どもができて、職業を続ける」が37.6%と、前回調査に比べ4.5ポイント増で最も多かった。次いで「子どもが大きくなったら再び職業を持つ」が36.6%、「子どもができるまで」が9.9%、「結婚するまで」が6.2%で、いずれも減少している。

少しずつ男女共同参画が進んでいるが、それぞれの分野でまだ男性優位の状況があるかなり男女共同参画が進んだ結果、それぞれの分野で男性と女性が同位の状況である。ほとんど男女共同参画が進んでおらず、すべての分野で圧倒的に男性優位の状況である。かなり男女共同参画が進んだ結果、それぞれの分野で女性優位の状況になった。

問5 下線部(d)に関して、次の文中の空欄[42]に入る条約の名前を答えよ。

昭和54年(1979年)の国連総会において[42]が採択され、翌年コペンハーゲンにおいて開催された「国連婦人の10年」中間年世界会議の会期中に署名式が行われ、条約の批准に向けて世界各国の取組が進められました。

我が国は、国籍法の改正や男女雇用機会均等法の制定等国内法の整備や、家庭科教育の男女共修などの条件整備を進め、昭和60年(1985年)には同条約を批准しました。

第5問 次の文を読み、下の各問い(問1～問6)に答えよ。(配点 16)

国連の基準では、65歳以上の高齢者が総人口の7%をこえた社会が高齢化社会、[43]%をこえた社会が高齢社会とされる。日本は1970年に高齢化社会となり、1994年には高齢社会に突入した。2020年にはこの割合が27%に達すると予想されている。この高齢社会はさまざまな問題を生んでいる。

第一に高齢者の経済問題がある。高齢者の大部分は収入が減少し、年金や家族の扶養にたよる場合も少なくない。働きたくても再就職は容易でない。他方、少ない15歳～64歳の人口で多くの高齢者の年金や福祉を支えなければならないため、若い世代の経済的負担は増大している。したがって、年金制度を見直すとともに、高齢者の生きがいにもつなげる再雇用や再就職を社会的に促進することも必要である。

第二に高齢者の健康問題がある。高齢者にとって、病気や死は身近な問題であり、精神的不安の原因となりやすい。また、「寝たきり老人」や「痴呆老人」などの介護は、経済的にも精神的にも家族に大きな負担を強いる場合が多い。高齢者の[44]世帯の増加にともなって、一人暮らしの高齢者の介護も大きな社会問題となっている。(a)介護保険制度は発足したが、多くの課題が残されている。高齢者介護には、公的な介護サービス基盤の拡充と、地域社会や介護ボランティアによる支援体制の整備が不可欠であり、これらは(b)ノーマライゼーションの理念にもとづいておこなわれるべきであろう。

社会の情報化は快適な反面、(c)新たな問題をうみだしており、わたしたちは、その解決をせまられている。こんにち、さまざまな個人情報や国や地方公共団体だけでなく、企業などにも大量に集積されている。こうした組織によって(d)個人の情報管理と利用がすすめられていく過程で、それが悪用され、プライバシーが侵害される危険が大きくなっている。プライバシーは、一度侵害されるとその回復はきわめて困難であるため、自分の私生活にかかわる情報がどのように収集され、利用されているのかを知り、それを自分自身でどう管理するかが、重要な課題となっている。

またインターネットを利用すれば、だれでも世界にむけて情報を発信することができる反面、(e)誤った情報や有害な情報、さらに個人を誹謗中傷したり、そのプライバシーを侵害するような情報も流布されている。現在、一元的な管理者のいないインターネット上でプライバシーをどのように保護していくかが、むずかしい問題となっている。

一方最近では、年齢や能力、経済格差などによって、情報通信技術の利便性を享受できる者とできない者との間に生じる[45]が、新たな不平等として注目されている。

問1 文中の空欄[43]～[45]に入る最も適当な語を答えよ。

問2 下線部(a)に関して、介護保険制度についての記述として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。[46]

満60歳以上の被保険者は保険料の納付を行わなければならない。

この制度を利用した介護を受けるためには、被保険者が介護施設の認定を受ける必要がある。

この制度の目的の一つに社会的入院の解消があり、在宅介護を促す意図があった。

介護給付費の財源はすべて介護保険料からまかなわれている。

問3 下線部(b)に関して、ノーマライゼーションについての記述として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。[47]

独自の介護学という学問が確立されるべきであり、これによってより介護という技術の専門性を主張するべきであるという考え方。

障害者が社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための施策。

文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計

心身に障害を持つ者も、人間としての権利に基づいて、障害を持たない者と同じように地域社会で生活をしていくという考え方。

問4 下線部(c)に関して、次のア～エの発言について、ステレオタイプ的な見方による発言を、ステレオタイプ的な見方による発言ではないものを×とした場合、その組合せとして最も適当なものを、下の～のうちから一つ選べ。[48] (2010年センター試験より)

ア 「やせた体型をしている人というのは、物事に対して多かれ少なかれ神経質な意識と行動パターンをもっている。」

イ 「女性はもともと他者と密接な関係をもちたいと考えているので、子どもや人の世話をするような仕事に適性がある。」

ウ 「フリーターやニートと呼ばれる人たちのなかにも様々な人がいるが、共通する傾向として多かれ少なかれ甘えがある。」

エ 「最近の若者は、中高年の人たちが若かったころに比べて、我慢や辛抱というものができなくなってきている。」

- | | | | |
|----|----|----|----|
| ア | イ× | ウ | エ |
| ア× | イ | ウ | エ× |
| ア | イ | ウ | エ |
| ア | イ× | ウ | エ× |
| ア | イ | ウ× | エ |
| ア× | イ× | ウ× | エ× |

問5 下線部(d)に関して、これらの危険を回避するための下記の制度を何というか。漢字4字で答えなさい。[49]

政府機関が国民の知る権利を保障する目的で法律ないし条例の規定によって国民の請求に基づきその保有する情報を開示することをいう。その主たる目的は、国民による行政の監視・統制と行政への参加とを容易ならしめることによって公正で開かれた行政を実現し、政府と国民の信頼関係を形成・維持することである。

問6 下線部(e)に関して、情報を自己の目的に適合するように使用できる能力、情報を活用する能力を何というか。[50]

これで問題は終わりです。